

2023年度実践

【授業編】算数科

**適用指導の場面における
デジタル教材の**

操作スキルと学習効果

(はなまる計算スキルのデジタル教材)

◆10月16日(月)1年1組

1単位時間におけるデジタルドリル活用の考え方の例

- 教師が単元をデザインする上で効果的な場面において、計画的に活用する。
- 学習指導において補助的役割として、例えば知識・技能の習得や定着の場面で、適切な反復による学習指導を進めるようにする。

導入	展開	終末	
学習問題の把握 (一斉)	問題の解決 ・個別(自力解決等) ・小集団や全体等での 考えの交流や練り合い	学習の まとめ (一斉)	練習 問題 (個別) 5~10分

※ その他、朝学習や放課後等の短時間学習での活用も考えられる。

デジタルドリルでの適用問題を指示

A2: 一斉学習でのまとめ



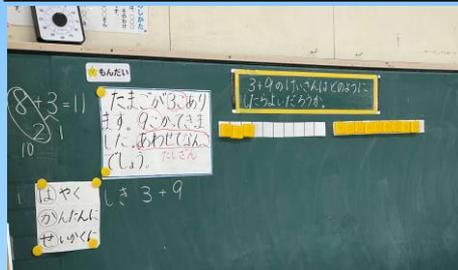
B1: 個に応じる学習



C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A1: 教材の提示



ブロックによる操作活動



個の考えを説明・発表

課題プリント、ドリル帳、デジタルドリルに取り組む児童

◆適用問題でのデジタルドリルの活用 ※1年生におけるデジタル教材の操作と学習効果
終末での適用問題として従来型のアナログによる共通課題(課題プリント、ドリル帳)に取り組みさせた後、発展的な課題としてデジタルドリル(はなまるスキル)に取り組みさせるようにした。